

[浦崎みゆき議員 登壇]

○7番 浦崎みゆきさん それでは、一般質問をさせていただきます。私は一括質問といたします。一括答弁のあとに再質問を行ってまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。まず、3・11震災より6年、防災減災を問う。(1) 3・11東日本大震災より本年度6年を迎え、本町の備蓄状況はどのように変化したか、年次ごとの状況を問う。(2) 高齢者や障がい者など災害弱者を受け入れる福祉避難所の指定状況を問う。(3) 3・11東日本大震災を忘れないためにも9月1日「防災の日」に庁舎ロビーにて防災関連商品やパネル展示をする考えはないかお伺いいたします。

2. 子育て支援について。(1) 国は幼児教育無償化の段階的推進を行っているが、本町の取り組みを問う。(2) 本町独自の政策はあるか。(3) 幼稚園教諭の人材確保や人材育成はどのような対策が講じられているか。(4) 保育士の処遇改善は平成29年度どのように変わるのか。

3. 図書館運営について。(1) 図書館が地域に果たす役割をどのように考えるか。(2) 小中学生を対象に貸出記録が分かる手動式「読書通帳」の導入の見解を問う。(3) 図書館と行政事業(食育や健康づくり等)とタイアップした事業展開ができないかお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目、3・11震災より6年、防災減災を問う(1)についてお答えします。町の防災計画では、町人口の20分の1の3日分を目標としております。町では平成24年度から5カ年計画で整備し、毎年約3,000食を購入し、本年度で約1万7,000食の食料や防災関連グッズ等を備蓄しており、今年度末時点で目標達成となっております。

(2)についてお答えします。福祉避難所については、まだ指定をしておりません。今後、防災担当課と連携し指定に向けて取り組んでまいります。

(3)についてお答えします。9月1日防災の日を中心に、パネル展を含め啓発活動事業の検討を行っていきます。また、これまで東部消防組合がショッピングセンター等で啓発活動の実施時には、本町備品の貸出を行うなどの協力をしており、関係機関とも連携し防災全般に対する啓発方法も考えてまいります。

質問事項2点目、子育て支援についての(4)にお答えします。保育士の処遇改善については、平成28年度人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じた1.3パーセント分として月額3,900円程度が平成28年度の運営費に加算されております。更に次年度に向けて、民間保育園等に勤務する全ての職員を対象とした2パーセント分が月額6,000円程度、それに加えて経験年数が3年以上で研修を終えた職員に対して月額5,000円、更に経験年数がおおむね7年以上で研修を終えた園長と主任保育士を除く中堅職員に対して月額4万円が国会に提案され審議中であります。更に町としましても単独事業で法人保育園職員給与補助として対象者388人に対し月額3,000円を補助してまいります。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 質問事項2. 子育て支援に関するご質問にお答えいたします。(1)でございますけれども、国の幼児教育無償化の段階的推進を受けて、本町も保育料の段階的な無償化の取り組みとして町民税非課税世帯等の幼稚園保育料無料、第2子半額などの段階的推進を行っております。保育園保育料につきましても、同様な対応をしております。

(2)でございます。本町独自の政策はあるかというご質問でございますが、町民税非課税世帯等の幼稚園給食費や預かり保育の食料費に対して援助をする幼稚園就園援助事業を行っております。

(3)でございます。幼稚園教諭の人材確保や人材育成については、クラス担任の職員採用や加配教諭等を配置することにより幼稚園教諭が働きやすい環境を整え、人材確保に努めております。また、町内4幼稚園合同で年間をとおして4園研修の実施や定期的に島尻教育研究所へ半年間の研修へ幼稚園教諭を派遣し人材育成を図っております。

質問事項3. 図書館運営に関するご質問でございます。(1)図書館を地域の情報センターと位置付け、関係機関との協力・連携を行い、特色ある図書館運営を進めております。

(2)読書通帳導入に関する見解についてでございますが、図書館協議会におきまして前向きに検討してまいりたいと考えております。

(3)のご質問でございますが、関係部局と協力・連携し、食育事業などの展開が実施できないか前向きに検討してまいります。以上でございます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 答弁ありがとうございました。それでは、順次問1から再質問させていただきます。3・11東日本大震災より本年で6年を迎えました。あの混乱の中を育った小さな命がこの春に小学校の門をくぐる子どもたちがいます。震災の記憶の風化が懸念されていますが、本県においても地震の頻度が増えていることから再質問をさせていただきます。答弁では人口の20分の1とありました。私の質問では年次ごとの状況を問うとしていますので、年次ごとに分かる状況であればお答えをお願いいたします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 まず、備蓄倉庫が各地域19自治会へ平成24年に設置です。それと同時期にレスキューキットというこの梯子とかつるはしなど機材のセットも配置しております。それから非常食につきましては24年度から28年度に平均3,000食、28年度購入済で1万7,050食となっています。緊急用トイレも24年度からでございます、2度購入で3,190。25年度、26年

度、27年度が各3,000、28年度が5,020ということで1万7,210セットの購入となっています。以上です。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。それでは、各公民館に備蓄品がいつているわけですけれども、その際どのような説明をなされているのかお聞きします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 24年当時、各地域の公民館に先ほども申し上げたように備蓄倉庫を配置しました。食料品を配置するわけですからできたら公民館の中にある倉庫に入れても良いものと食べ物・飲料水ですので環境が良い所と言いますか食料を備蓄するに良い環境にしてくださいということですね。その他、緊急な何かがあったらこの食料を当然のごとく活用していただきたいということでございます。当時の区長会ではそういった説明を行いました。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。それでは、何点か確認をしたいと思います。南風原町地域防災計画の18節、食料供給計画には備蓄の計画量が示されておりましたが、平均的に言われている5パーセントを目標としているのか、何を基準にして行っているのかをまずお聞きしたいと思います。

それから、食料供給活動は総務対策班が行うとして、配給の際は食品等受払い簿が作成されるとあるがこれは準備されているか。

また、個人備蓄の推進がうたわれているが、どのように推進しているかお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 5パーセントの根拠につきましては、防災計画の際に一般的な数と言いますか、ということでございます。特にこれが何らかのルールに基づいてということではございませんでした。

分配のときの名簿ですね。現時点では作っていません。

個人への備蓄ですが、それは随時と言いますか広報とかそういったもの、それからお役立てマップ等々の中にも常々備蓄していったほうが良いものなどをお知らせしているところがございます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん この備蓄の基準なのですが、本町としての定義付けをする必要があるのではないかという思いもしました。あとはこの受払い簿ですね、これは災害があってから作っては遅いと思いますし、すぐできるものだと思いますのでよろしくお願いします。私が今回これを取り上げております意図は、今年度で目標達成の1万7,000食であります消費期限なども過ぎていくわけでございますので、町民への備蓄の啓発にぜひ取り組んでいただきたいということです。今おっしゃっていただいた1万7,000食は、1日1,898人の方の3食3日分ですので、本当に何かあったときには1,898人しか食事ができないというような状況であります。そこはぜひ広報活動、また(3)にありますパネル展示とかそういうときにもぜひ町民にはお知らせをしていただく。公的援助は本当に最後の受け皿であるということ、また現在の備蓄の予算が一括交付金によってされてきたこと、この交付金が終了した場合の計上は本当に予算的に厳しいものとなってくることから、町民に対しましては最低3日分の食事、自分の家族は自分で守るのだというような啓発活動をしていかなければ今後の備蓄は厳しい状況になっていくと思うのです。自分のことは自分で守るという啓発活動をしていく上でもパネル展示とか、震災を忘れずにパネル展示をしていく。また啓発活動をどの部分でやっていくか。常に防災マップを広げているわけではありませんので、行事とか何かあるときにお知らせをしていって、ぜひ町民への備蓄啓発活動をしていただきたいと思いますと思いますが、その点について見解をお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 議員ご指摘のとおりでございます。われわれもこういったお役立てマップを配布して、その中身についてはお知らせが不足しているというようなこともご指摘のとおり感じております。そういったこともございますので、防災の日とか月を選んで広報に掲載するとか、年に1回、去年は翔南小学校区で行いましたがそれも実施していく。それからご質問にも出ていましたパネル展も実施していきながら、東部消防とも連携して備品の貸与なども行っていますので次はまた東部消防と一緒にの啓発活動などいろんなかたちで取り組んでいきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。ぜひ、お願いいたします。それでは、(2)にいけますけれども、これはまだ指定しておりませんということでしたが、できていない理由とはどういったものが考えられますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 災害時の要支援者に対する避難支援の部分では、2月末にようやく南風原町災害時要支援者避難支援計画を策定することができました。その計画を策定し、その中で福祉避難所の整備を記載しているわけですが、これまで福祉避難所の指定をしてきておらず遅れている部分がございます。ただ、この計画を策定しましたのでそれに沿って今後指定あるいは役割を担えるような施設等との協定の締結等に取り組んでいきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 分かりました。それでは、全体計画としては済んだということで、早い計画の進捗状況だと努力が伺えるものだと思います。けれども、これからということなのでぜひがんばっていただきたい。高齢者や障がいの方などが普段から使っている介護用品、おむつだとか必要になってきますし、先ほどの備蓄でも申しましたが普段からの備え、何かあったときにはすぐに持ち出せるようにしておかなければ、普通の方とはまた違うのでそこは提案もぜひ行っていただきたいと思っております。そして早めに1カ所でも指定をまずしていただければ安心感が持てますので最大の努力をお願いしたいと思います。

それから（3）ですけれども、冒頭申し上げたとおり震災より6年がたちまして、報道の時間も少なくなったり私たちの意識の中でもやはりちょっとどこか遠い存在になってきて、過去の出来事というふうになりつつあると思います。しかし、被災者の方々にとっては今現在も復興半ばであります。その方々の思いに応えるためにもこの9月1日の防災の日、私たちに何ができるのかを考えたとき、常に忘れないためにも防災意識を持つことだと思うのですね。そういったことで、やはり皆さんの目に付く、また役場庁舎というのは町民が常に出入りをしていく場所ですのでそういう啓発、3・11を忘れないためにもパネル展示と防災関連の品を展示していくことによって平常時からの備えを啓発できると思うのですが、その点に関して町長のご登弁をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 台風とか河川の氾濫とか以前のような大きな災害が最近では起こっていない、それは有難いことではあるのですがやはり災害というのは地震だけに限らずいろんなかたちでいつ来るか分からないというのは当然のごとくあります。そのことから、議員ご提案のとおり9月1日前後に何らかの啓発活動をパネル展にするのか含めて前向きに検討させていただきます。よろしく申し上げます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この東日本大震災のことは、海外でも教訓を広める取り組みが行われております。ハワイ島にある太平洋津波博物館では展示コーナーを設置して、被災当時の様子や写真、映像を紹介しております。地球上どこに居ても被害に遭う可能性があるということで、本当に警鐘を鳴らして、またそこで応援メッセージも届けられるような工夫もなされているとも聞いております。最後まで私たちができる限り被災者に寄り添って応援していくという施策が大事になってくると思いますので、ぜひ前向きな検討をよろしく願いいたします。この質問は終わります。

次に、子育て支援についてお伺いいたします。本町も段階的推進を受けてやっているということでありました。これは24年度ぐらいから徐々に段階的な無償化に向けてやっているわけですが、特に今回幼稚園に注目したのは、やはり幼児期の教育が生涯にわたっての人格形成という重要なものでありますし、また29年に向けては低所得や多子世帯、一人親世帯など保護者負担が軽くなるように聞いております。具体的な数字が見えてこないものですから、27年度と28年度を比較してはどのぐらいの進捗があるのかお聞きしたいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 それでは、28年度に幼稚園の保育料見直しを行ったものは2点あります。まず、幼稚園保育料の第3階層において第1子5,300円が3,500円、第2子が半額で第3子が無料でしたが第2子以降が無料になったという改正と、多子軽減の1子目の年齢制限を撤廃したという大きな改正が2点ありました。その2点の改正によって影響した児童が76名で、影響額は約30万円を見込んでおります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。人数と金額で見るとすごく分かりやすく、少しずつ緩やかにこの無償化がいつているものですから、恩恵を受けている皆さんにもあまりよく分からないのではないかとということで今回この質問をしております。ありがとうございました。

では次の町独自の政策はあるかということで、幼稚園就園事業を行っているとのことなのでですね。28年度の予算を見ましたら、1,577万円ということなのですけれども、これはいつから始まった事業だったのか確認をしたいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

平成29年第1回一般質問2日目

○教育部長 宮平 暢君 こちらは就園奨励費ではなくて、幼稚園就園援助事業となっております。27年度から始めた事業となっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本町独自の政策で子どもたちをしっかりと応援していることが分かりました。

3番にいきまして幼稚園教諭の人材確保・人材育成ですが、クラス担任の職員採用などかなり環境を整えて行っている状況は分かりましたが、答弁の中で島尻教育研究所への半年間の研修というのはどのようなかたちでやっているのか。手挙げ方式なのか、何名ぐらい行ってどのような状況で進んでいるのかをお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 それでは、お答えします。島尻教育研究所への研修については、教育研究所が希望者を募って手を挙げた方が参加をすることになっております。本町については、毎年ではなくて2年に1度とか定期的に職員を派遣しておりまして、平成27年度に派遣しました。また次年度の29年度も1人、半年研修に派遣する予定となっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん では、幼稚園教諭が行くわけですよね。その研修へ行かせている際の半年間は、どのような対応をなさっていますか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 臨時職教員で対応しております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。先日、そちらから資料をいただきまして、担任の状況、園長先生の状況、人数の確認をいたしました。28年度で幼稚園のクラスが全体で16あり、本務が12名、残りの4名は嘱託となっているのですか。幼稚園教諭は教育専門職であります。初任者には教育公務員特例法で小中高の教諭と同様に内容と期間が定められた初任者研修が法的に義務付けられているということで、就学前教育の重要な役割を担うのですが、

平成29年第1回一般質問2日目

この残りの4名について、本来、クラス担任は本務職が望ましいと私は思うのですが、29年度はまずどのような方向性になっているのかお伺いします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 教育委員会としてもクラス担任は本務職員を充てるということで目標を持っています。しかし、一気にはできませんので、年次的に職員を採用して本務職員を充てる計画となっております。

また、29年度は5クラス増える予定ですので、その増える数全て採用することはできませんので、年次的に職員を採用して充てていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。では、今と変わらないということによろしいのですか。もっとクラスが増えるので、増える分だけ嘱託で対応するというお考え。本務は増えないということですか、確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 29年度は、本務が2人増える予定となっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん それでは7クラスは嘱託ということによろしいわけですね。2人増えるのですが、クラスも増えるということです。資格も要しますし経験の積み重ねもまた大事になってくると思いますので、できるだけご努力いただきたいことを申し上げたいと思います。

それから、29年度ですが幼稚園教諭の負担軽減を図るために国ではICT化を支援の流れとしていく動きがありますけれども、本町においてはいかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 本町では、教育に関するICT化はまだです。ただ、出退勤といった管理関係についてはICT化を進めております。また、先生方の補助は軽減ということではないのですが、28年度から体育充実事業、民間のスポーツ施設から講師を派遣する事業も取り入れて実施しております。

平成29年第1回一般質問2日目

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん この体育事業に関しては、本町独自のものでしょうか。その内容を教えてもらえますか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 1クラス週1回、体育の授業を設けまして、スポーツインストラクターを派遣してもらって跳び箱や鉄棒といった運動、正しい運動の仕方を専門に指導してもらって体育の授業を充実させる事業となっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 近年、幼児の体力が低下しているとも聞いたことがありますけれども、本町の幼稚園児たちはどうでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 児童、幼稚園の先生方、保護者からも非常に高評な事業展開を行っております。子どもたちも常にこの体育の授業を待ち望んでいるという状況でやっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 私がお聞きしたかったのは、子どもたちの体力なのですけれども、そこはどのように確認できていますか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 幼稚園についてはまだ具体的に調べてはいないのですけれども、実施している子どもたちの何パーセントが何をどう、何段跳べるなど数字は取っていますが、全国的な比較となりますと小学校、中学校のものがあましてやはり沖縄県全域の特徴としてはやる子はやる、やらない子はやらないという両極化している中であります。そこで幼稚園から子どもたちに運動する喜びを味わわせて、そういったことを解消していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本町の幼稚園の預かり保育、特に27年度の教育事務点検評価報告書を見ますと外部からも素晴らしい評価がありますし、今後の幼児教育には期待したいと思っております。この質問は終わります。

次に(4)についてお伺いします。いろいろと処遇改善がされてくるようでありまして、これで保育士の皆さんが安定した支援が得られることを期待しております。そのいろいろと変わっていく中で、各保育園の処遇改善の受入れ態勢と申しますか、そこはどのようになっていますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。例えば処遇改善の部分で言いますと、直接給与等に反映されるのは運営費として認可保育園に入っていきます。あとは働きやすい環境を作っていくために保育士の年休取得を取りやすくするための代替保育士の確保等、そういった事業の中から園が希望するものに町が対応していきます。園が取り組むということであれば行政はそれを支援していく、というような処遇改善のかたちとなっています。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ちょっと分かりづらいのですが。金額面においては運営費に反映されていく、その他の例えば副主任保育士だとか専門リーダーだとか、職務分野別リーダーだとか名称を付けて3年以上、7年以上とあるわけですけれども、そういったものを要するに園が採用するかどうかというお話しでしょうか。園としてはこの処遇改善でどのようなものが必要となってくるのですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

(「休憩願います」の声あり)

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩(午前11時44分)

再開(午前11時45分)

○議長 宮城清政君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 29年度から新たに国が予定しています処遇改善は、キャリアアップ処遇改善のイメージというかたちでしかまだ示されておりません。例えば月額4万円の処遇改善というのもございますが、これには副主任保育士と専門リーダー、その役割の要件を満たす

方々がいて、これが園長・主任保育士を除く保育士等全体のおおむね3分の1と示されておりまして、そのあたりをどのように配分していくかは園が決めていくことになってまいります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん これからということなのですが、この制度の周知など、また何かシステム改修などもありますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 現在のところシステム改修が必要だとかそういう情報は特にございません。また、この動きに関しては皆さん、認可保育所も察知しているところではございますので、決まり次第どんどん情報は共有しながら取り組んでまいります。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん いずれにしましても良い方向に進んでいっているものですので、ぜひ早めの情報提供をお願いしてこの質問は終わりたいと思います。

次に、図書館運営についてお伺いいたします。図書館の果たす役割ということでは、情報センターと位置付けて特色ある図書館運営を進めておりますということです。図書館でWEB検索ができるようになりましたよね。それはいつから始まって何件のアクセス数があるのか。また、特徴としてはどういったものが捉えられるかお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 お答えいたします。WEB検索は27年12月から行っておりまして、アクセス数は業者さんに聞かなければ分からないのですが、28年4月から今年3月までのWEBでの予約が109件で、Eメールの変更などが23件、パスワードが66件、貸出延長が144件あります。図書館内のパソコンには打ち出しができるのですが、現在、そういった統計などは取っておりません。アクセスした件数を確認しながらの件数になっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん WEB予約が109件ということで、数的に高いのか低いのかよく分かりませんが、新しい取り組みとして町民サービスになっていると思います。そこにア

クセスした数など分かればまた更に分かりやすいのかと思います。貸出延長というのがありました、どれぐらい延長できるのでしょうか。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 延長は2週間なのですけれども、その本に予約が入った場合にはできません。予約が入っていない場合、2週間までは延長できます。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 私も分かりませんでした。広報には書いてあるのかな。素晴らしいサービスだと思います。今の南風原町の図書館は小さいと言う方もいらっしゃいますが、以前に比べればすごく素晴らしいものになっていると私は思います。やはり多くの方が読書を楽しんで、またそこに人を集める力も図書館は持っているということですね。そういった人を集める力と、もっこの図書館をまちづくりに生かすことができないのかということで今回の質問をしております。答えにも書いてありますけれども、情報センターということで図書館に行けばいろんな情報が得られるということです。他の地域の図書館を検索してみたわけですが、地域振興を目的にした事業に取り組んでいる所が497件あって、そういうデータも上がっております。また、那覇市におきましては、地域のがん診療連携拠点病院からがん関連の図書の提供を受けて市民の意識啓発に役立っているということです。その他、企画展とかトークイベントを積極的に展開しているところです。

そこで、私も中が見えづらいのでお伺いしたいのですけれども、本町の図書館運営の仕組みと本町の持っている図書館をどういうふうにしていこうというビジョンがありましたらお伺いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 南風原町の図書館は3万ちょっとの冊数しかございませんので、議員の皆さんからももっと大きくしたほうがいいのではないかといろいろありますが、そういった意味から子育てを重点的に考えておりまして、28年度から「赤ちゃんタイム」ということで、毎月第1・第3木曜日の10時30分から12時までは小さなお子さんや赤ちゃんが来ますのでうるさいかも知れませんが我慢してくださいというように他の利用者にも広報をしております。また、中2階は学習スペースになっていまして、以前は仕切版を立てたりしておりましたが、今年度4月からは中央公民館の昼間も利用しながら、読書クラブというものが南風原町にはありましてその方々と読み聞かせができないかということで調整をしております。23日の図書館協議会で協議してそういった事業を進めていきたいと思っております。そして、ちむ

ぐる館では毎月健診時にブックスタートということで利用させてもらっていただいて、絵本を4冊の中から1冊と手さげをプレゼントしていて、その手さげを持って図書館に来られるお母さん方も多いのですね。そのように、子育てに力を入れていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。初めて私も聞きました。本町はこども医療費無料と併せてやはり子育てを中心とした図書館づくりということで、また今後は読書クラブとも提携してということでビジョンを読み取ることができたと思います。そういった「赤ちゃんタイム」、ブックスタートもそうですけれども、企画などは課長が考えられるのですか、職員の皆さんが考えてやるのか。また、協議会が中心となってやるのかそこをお聞きしたいと思います。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 協議会委員の皆さんの意見も取り入れたり、他所の図書館がやっているものだったりを課でもいろいろ論議しながらやっております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。大変に分かりやすく、理解できました。

それでは、子育てに重点を置いてやっているとのことでしたので、(2)は小中学生を対象に貸出記録が分かるということで、以前私は預金通帳式の機会の読書通帳というものを提案したのですが、さすがに金額が張るので却下されました。今回、浦添市のほうへ行きまして、読書手帳というものをやっておりますがうちと同じようなWEB検索ができる、そしてEメール、パスワードを入れて登録していただくシステムにちょっとプラスしたもので出来上がっています。これが読書手帳というものなのですが、今日の答弁には今後協議会にて前向きにとあります。記録に残っていくものですし、子どもたちの成長もこれで見えてくると思いますし、また大人にとりましてもどういったものを自分は読んでいるなどジャンル分けもできることからいろんな本に挑戦していける意味でも、ぜひ取り入れていただきたいと思っておりますので、協議会にてまたよろしく願いいたします。

それでは、(3)の行政とタイアップした事業ができないかということなのですね。それに関しましてはこのあいだ、グランパスの管理栄養士の方と食育学べる体育事業ということで行っておりますよね。給食に献立として食してスポーツ面からの食育というふうにしてとても良い事業だと感じています。今回私が提案したいのは、そういった連携で図書館をもっと活用して

事業展開できないかということなのです。例えば特定健診の中の封筒に健康に関する本のタイトルを書いたものを一緒に入れていただいて、そうすれば自分は血圧が高いからこの本を読んでもみようかなとか、その本に接することによって知識も深まってきますし、健診を受けてみようかなというような考えにもいくのではないかということです。あるいは他の事業、イベントでもやっているときに本を持って行くのは大変ですので、そういった関連の書籍がありますよという案内だけでもまた違ってくるのではないかと。先日も緋の祝賀会がありましたけれども、できれば図書館に緋関連の本を展示していますとかそういったものがあれば、今でもとてもがんばっていらっしゃるのですがもっと積極的に町行政と一緒にやれば、私たち住民の知識も深まっていきますし、ただ健診を受けてと言うだけではなくて、意識が変わっていけば自ずと健診受診率も上がっていくのではないかと。図書館と町民をぜひ結び付けていくような事業を展開していただきたいと思っております。その件に関して教育部から決意があればよろしく願いいたします。

○議長 宮城清政君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 神里 智君 各課の連携につきまして、ブックスタートの案内文は保健福祉課にお願いして健診の封筒で連絡を差し上げています。議員おっしゃるように、各課連携できる場所はそのほうにやっていきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 7番 浦崎みゆき議員。

○7番 浦崎みゆきさん 前向きな答弁、ありがとうございました。ぜひよろしく願いいたします。以上で終わります。